



# 妨げられた創造性

## Evolve or Die

永田円了

「大人が、一番やってはいけないことは、子ども達が自由に自分の可能性を伸ばしていくことを、妨害すること。これは最大の罪である」、と大江健三郎は述べた。

だれもが創り出すべき何かをもって生まれてくる。その創作物は子どもであったり、商売であったり、それは何であれ、自らの利益になり、他者の利益にもなるもの。創造性を表現することが妨げられれば、健全な生活に弊害をもたらすことになる。

人は、創造性を発揮して自分の世界に変化をもたらす必要があるが、その影響力の大小は問題ではない。大切なのは、創り出すという行為そのものなのだ。(直感医療の第一人者、キヤロライン・メイス)



### 人生はクリエイイトするもの

生きることはむずかしい、だから、人生おもしろい！ だから人は成長し、進化する。人生は不公平だ、しかし、生老病死という視点からみれば、人生は徹底して平等である。



不幸なことばかり起こる、しかしそれは、夜のあとには必ず朝がくるように、どんなことが起こっても、それは新しいことの始まりであり、人がもっとよくなって行くことへの招待状である。人生をクリエイイトするとは、こういうふうを考えることなのである。

大部分の時間、私たちは外面的に生活をしているのではないか。その結果、自ら行動するというよりは、むしろ“外から動かされている”ように思われる。創造的な行動をしている瞬間、人はポーっとした“思考停止”状態を逃れ、真の意味で生きていると言えるのでないだろうか。

その時初めて“時は流れている”と言え、その時間は可逆的時間とは異なり、“ワン&オンリー”なもので、決して繰り返したり、逆戻りしたりすることのない時間なのである。



最後に、米国の神学者、ハワード・サーマンのコトバより；

**世の中が何を必要としているかについて、問う必要はありません。**

**自分が生き生きと活気づくことをやりなさい。何故なら、世の中が必要としているものは、生き生きと活気づいた人々だからです。**

#### <事例 DVD>

大江健三郎／創造性を妨害してはならない  
河合隼雄／人生はクリエイイトするもの  
正高信男／役立っているということ、老象の知恵  
クローズアップ現代／墓が捨てられる／守られる存在になること  
NHKスペシャル／老人漂流社会“老後破産”の現実  
開高 健／見えざる敵は、自分の心  
NHK きわめびと／マニュアル人間、心のフィルター  
映画「マイリッジ、マイライフ」2009年／人生の重荷を捨てる  
映画「ルーシー」2014年／人類は脳の10%しか使っていない  
Free Solo Alex Honnold／人の無限の可能性、恐れ、緊張のない世界  
映画「Pay It Forward」2000年／創造性は世界を回る  
歌・中島みゆき「I Love You, 答えてくれ」  
“何か返してもらうため、君に愛を贈るわけじゃない。  
あとで返してもらうため、君に時を贈るわけじゃない”

